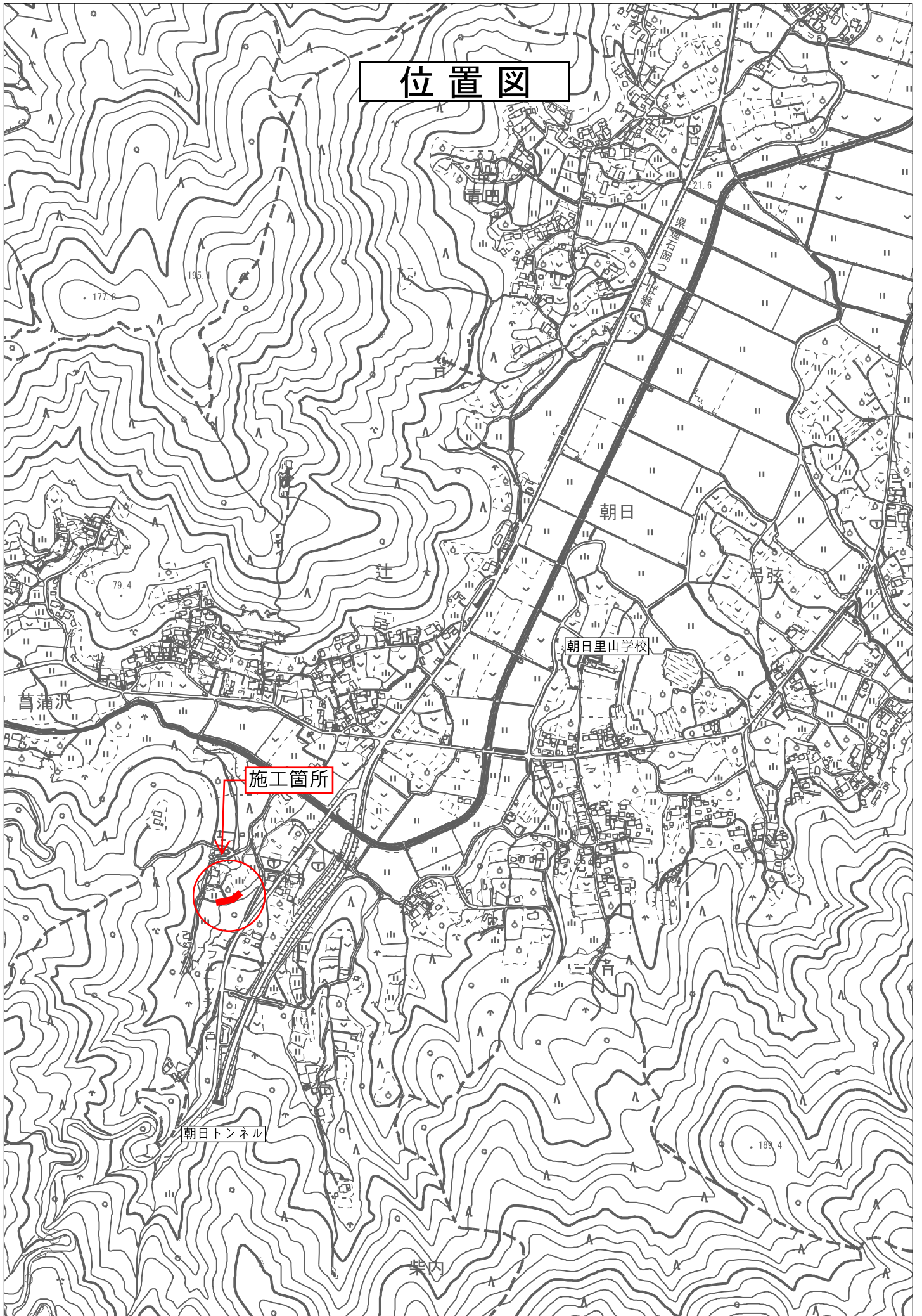


工事起工 概要書

		部 長	次 長	課 長	副参事	課長補佐	係 長	課 員	審査員	設計者
執行年度		令和 元年度								
工事番号 工事名		第01-01-205-0-001号 R元単・菖蒲沢地内排水路整備工事 起工 設計書								
工事場所 又は履行場所		石岡市 菖蒲沢								
施工方法						原契約年月日	年 月 日			
工期又は 履行期間		令和 年 月 日 から 令和 2年 3月20日 まで 日間								
受注者										
費 目	起 工	第1回変更	増 減 (△)							
起 工 額				変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率						
請負(委託) に付する額				請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$						
工事(業務) 価 格				(小数第7位切り捨て6位止め)						
測量試験費 又は工事雑費				変更積算工事価格 - 円						
消費税相当額				請負比率 -						
請負(委託) 決 定 額				変更工事価格 - 円						
工 事 概 要										
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3
排水構造物工 (排水フリューム900×900) L=42m										
変更理由										

位置図



R元単・菖蒲沢地内排水路整備工事

特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市菖蒲沢地内 R元単・菖蒲沢地内排水路整備工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
排水構造物工	再生砕石	RB-40

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(発生土の処理)

第9条 本工事における発生土については、下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は、設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)、が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に、ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し、必要な試験を行うとともに、その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) スtockヤード利用料金は、設計地山土量1m³当たりの単価で算出し、管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。

(不正軽油の使用防止)

第10条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。

(7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(労働安全衛生法等の遵守)

第11条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
 - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第12条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

第 01-01-205-0-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式	床掘り(掘削)	30.000 m3
					埋戻し	30.000 m3
					基面整正	48.000 m2
側溝工			1	式	プレキャストU型側溝	42.000 m
仮設工			1	式		
工事用道路工			1	式	敷鉄板	405.000 m2
水替工			1	式	ポンプ排水	6.000 日
直接工事費計			1	式		
共通仮設			1	式		
共通仮設費			1	式		
運搬費			1	式	仮設材運搬費	72.000 t
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		
現場管理費			1	式		
工事原価			1	式		
一般管理費等			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 01-01-205-0-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

本工事費内訳書

第 01-01-205-0-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
排水構造物工									
作業土工									
床掘り(掘削)					30.000	m3			
掘削 土質(土砂),施工方法(上記以外(小規模)), 施工数量(小規模(標準))					30.000	m3			施工P 第0001号代価表
埋戻し					30.000	m3			
埋戻し 施工方法(最大埋戻幅1m以上4m未満)					30.000	m3			施工P 第0002号代価表
基面整正					48.000	m2			
基面整正					48.000	m2			施工P 第0003号代価表
側溝工									
プレキャストU型側溝					42.000	m			
排水フリューム900×900 作業区分(据付け),L=1000・L=4000・L=5000 使用の有無(無し),夜間作業の有無(無し), U型側溝の種類(側溝(各種)),U型側溝の 規格・仕様(L=2000mm),U型側溝の質量(1000 を超え2000kg/個以下),時間的制約の有無(無 し),施工箇所における補正(無し),基礎 砕石施工の有無(有り),基礎砕石の種類(再 生クラッシュ 40~0),基礎砕石設計数量(実 数入力)(1.72 m3/10m)					42.000	m			第0004号代価表
仮設工									
工事用道路工									
敷鉄板					405.000	m2			

本工事費内訳書

第 01-01-205-0-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
敷鉄板設置・撤去 作業区分(設置・撤去)	405.000	m2			
敷鉄板賃料 敷鉄板の種類(22×1524×6096), 不足分弁 償金の有無(無), 供用日数(日) (実数入 力)(日), 整備費の有無(無)	45.000	枚			
水替工					
ポンプ排水	6.000	日			
ポンプ運転工 排水方法・動力源(作業時排水 発動発電機) ,ポンプ台数(実数入力)(2台)		日			
ポンプ据付・撤去工	1.000	現場			
直接工事費計					
共通仮設					
共通仮設費					
運搬費					
仮設材運搬費	72.000	t			
仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、 覆工板、敷鉄板等) 片道運搬距離(実数入力)(10 km), 製品長 区分(12m以内), 運搬割増率(各種(実数入 力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他 の諸料金の有無(無)	72.000	t			
共通仮設費(率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費内訳書

第 01-01-205-0-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 掘削

施工P(機31.50%, 労57.43%, 材11.07%, 市0.00%)

第 01-01-205-0-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.28m3	31.500	%			K1
運転手 (特殊)	57.430	%			R1
軽油 1.2号	11.070	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外 (小規模)
J06 施工数量	7	小規模 (標準)

第 0002 号 代価表 埋戻し

施工P(機13.18%, 労82.04%, 材4.78%, 市0.00%)

第 01-01-205-0-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.8m ³	11.290	%			K1
振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.8~1.1t	1.780	%			K2
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.110	%			K3
普通作業員	51.010	%			R1
特殊作業員	22.470	%			R2
運転手(特殊)	8.560	%			R3
軽油 1.2号	4.670	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.110	%			Z2
			(標準単価 積算単価)	

J01	条件名称 施工方法	入力値 3	入力名称 最大埋戻幅1m以上4m未満
-----	--------------	----------	-----------------------

第 0003 号 代価表 基面整正

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 01-01-205-0-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称

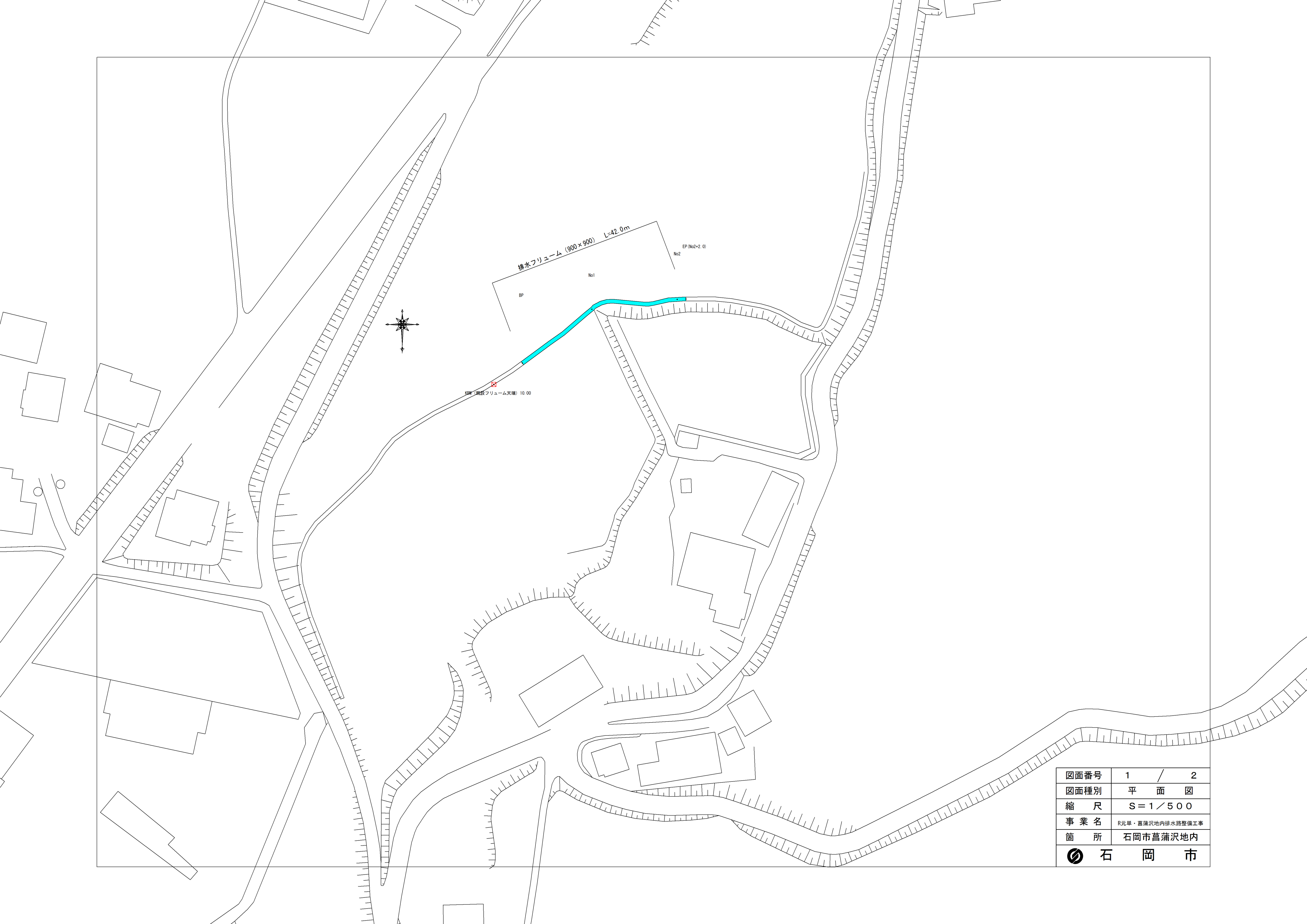
第 0004 号 代価表 U型側溝

第 01-01-205-0-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間 L2000 2000kg以下 制約無	10.000	m			
排水フリューム900×900	5.000	個			
再生クラッシャーラン RC-40	2.064	m ³			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付け
J 0 2 L=1000・L=4000・L=5000使用の有無	1	無し
J 0 3 夜間作業の有無	1	無し
J 0 4 U型側溝の種類	4	側溝 (各種)
J 0 6 U型側溝の規格・仕様	2	L=2000mm
J 0 7 U型側溝の質量	4	1000を超え2000kg/個以下
J 0 8 時間的制約の有無	1	無し
J 0 9 施工箇所における補正	1	無し
J 1 0 基礎砕石施工の有無	1	有り
J 1 1 基礎砕石の種類	5	再生クラッシャーラン 40～0
J 1 2 基礎砕石設計数量 (実数入力)	1.72	1.72 m ³ /10m

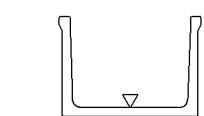


図面番号	1 / 2
図面種別	平面図
縮尺	S=1/500
事業名	R元単・菖蒲沢地内排水路整備工事
箇所	石岡市菖蒲沢地内
 石岡市	

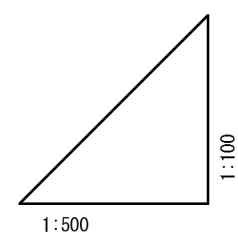
縦断図

V=1:100 H=1:500

R元単・菖蒲沢地内排水路整備工事 L=42.0m



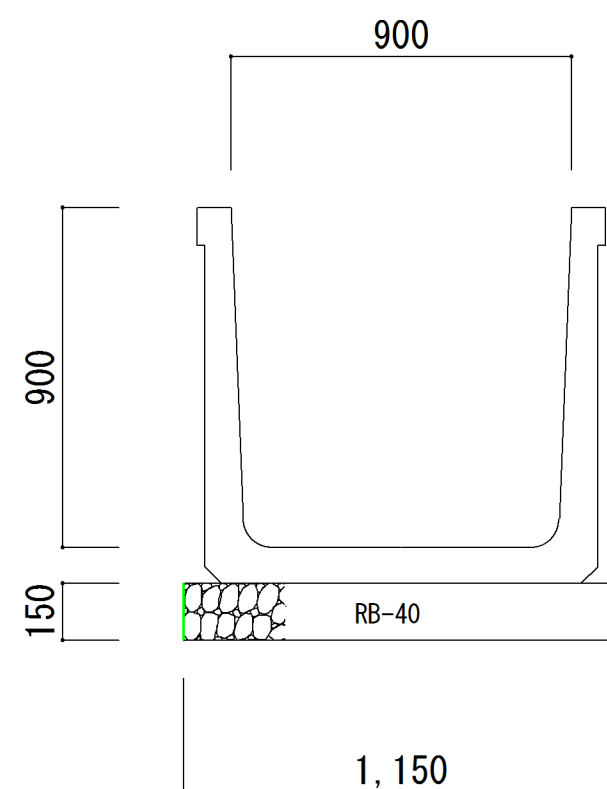
▽ KBM H=10.00 10.00
(既設排水フリーム天端)



DL = 0.00

排水構造物敷設図 S=1:20

排水フリーム900×900



勾配	<p>L=42.000 H=0.647 i=1.540%</p>			
計画高	9.193	9.501	9.809	9.840
水路底部高	9.193	9.584	9.932	9.840
追加距離	0.00	20.00	40.00	42.00
単距離	0.00	20.00	20.00	2.00
測点	B.P	NO.1	NO.2	EP

図面番号	2 / 2
図面種別	縦断図
縮尺	図示のとおり
事業名	R元単・菖蒲沢地内排水路整備工事
箇所	石岡市菖蒲沢地内